株式会社ワークマン 2025年3月期 決算説明会 質疑応答集

※決算説明会で頂戴しましたご質問をまとめたものであり、一部内容の修正・加筆を行っております。

Q．中期成長ビジョン開示した背景

ワークマンカラーズの展開加速に伴い、プロ・一般それぞれの業態について方向性が固まったことが背景となります。海外展開につきましては、国内店舗網の飽和が視野に入り、機能性ウエアの可能性を勘案すると、この数年間が当社事業の転換期になると考えております。それらを踏まえ、中期成長ビジョンの公表に至りました。
なお、決算説明会や投資家様とのミーティングでも将来性に関するご質問を多く頂戴していることも判断材料とさせていただきました。

Q．海外展開に向けた課題

当社では海外事業の知見が乏しいため、運営形態及びパートナー企業の選定が課題となります。商品に関しても一層の品質向上や価格設定が重要になると考えております。よって、今回の中期成長ビジョンは海外展開を見据えた、経営基盤の強化に重点を置いております。（※中期成長ビジョンには海外展開に関する計画数値は含まれておりません。）

Q．台湾出店の進捗

インバウンドの強い沖縄県で海外のお客様の商品に対する反応を調査した結果、台湾のお客様からは「機能と価格」について高評価をいただいております。また、気候条件も近いことから海外初出店の候補にあげております。
なお、現地調査を始めておりますが、現段階でお伝え出来る情報はございません。

Q．中期成長ビジョンで定量目標を掲げているが、最も重視する指標は？

出店及び売上成長の実現がポイントとなります。そのためには各業態の差別化が必要であり、出店・商品・販売が連携して客層拡大と顧客満足度の向上に取り組みます。なお、利益率の向上を計画していることから、利益についても重要な指標となっております。

Q．年間50店舗の出店を見込んでいるが、さらに加速する可能性があるか

都市部やショッピングセンターなど出店余地が残されており、それぞれの業態が差別化できた場合は、さらなる出店加速は可能であると認識しております。一方、自店競合や出店基準、加盟店募集などのリスクも潜在化しておりますので、出店が減速する可能性もございます。

Q．2026年3月期業績予想の既存店売上高伸長率が低い理由

外部要因としては物価高や地球温暖化の影響が読み切れない点、内部要因では新規出店に伴い近隣店舗の落ち込みなどを勘案し、前期比100.8%で業績予想を公表しました。今後も1店舗2億円の長期目標に向けて、オンライン戦略を絡めながら既存店の底上げを図ります。

Q．2025年3月期第4四半期会計期間の利益率が大幅に改善した要因

期初の想定レートと比べ円高に振れた影響と、商品改廃に伴う利益率の改善が要因となります。なお、2024年3月期第4四半期会計期間の利益が円安の煽りを受け、極端に悪化したことも要因となります。

株式会社ワークマン 2025 年３月期 決算説明会 質疑応答集

Q．ワークマンアプリの開発について

新規顧客の開拓とリピーター化を目的に運用を検討しております。クーポン等の発行は行わず、キャンペーンやコラボ、クリアランスなど、お買い得情報を配信することで店舗及び EC サイトへの送客を見込んでおります。
現在、開発段階であり正確なリリース時期等は未定となります。

Q．法人フランチャイズのイメージ感

ワークマンカラーズに限定して法人フランチャイズを検討しており、運営委託会社等と商談を進めている段階であるため、具体的なスタート時期は未定となります。

Q．ワークマンカラーズの販売状況と手応え

ワークマンカラーズへの屋号変更に伴い、女性客を維持しながら男性客が増加傾向にあります。中でも、インナーウエアやカジュアルウエアが売上を牽引し、一般消費者への客層拡大が進捗しております。
立地によっては好不調があるものの、概ね順調に推移しており、専売商品比率の向上やスマホアプリの開発等で業態の確立を目指して参ります。

Q．2026 年 3 月期のアイテム数

各業態の差別化を図る専売商品の増加や、気候変動対応として新たなシーズンカテゴリー「夏秋物」を追加するなど、会社全体のアイテムは増加する予定です。過去に課題となった PB ブランド間のカニバリに注意しながら、在庫内容の最適化を図ります。

Q．相互関税の業績影響

輸出が多い製造業を中心に企業収益の悪化が懸念されます。国内生産や設備投資が抑制された場合は、販売低迷のリスクが想定されます。なお、現在のところ販売や調達面での影響はございません。

Q．熱中症対策の義務化に関する収益性について

2025 年 6 月より職場における熱中症対策が事業者に義務付けされます。これにより、ペルチェベストやファンウエアなど猛暑対策商品の法人需要が高まることが期待されます。足元では猛暑対策商品の販売が伸びており、増産も行っている状況であります。

以上